

学校のあゆみ

明治	9年12月27日	福善寺を借りて仮校舎として是川小学校と称す
	11年 1月16日	是川字東前田に二階建校舎を新築、移転する
	12年 3月 1日	校名を「是川尋常小学校」と改称する
	33年 7月23日	是川字北城下3番地に校舎を新築、移転する
大正	9年 4月13日	高等科を併置して、校名を「是川尋常高等小学校」と改称する
昭和	11年12月26日	是川字細越河原2番地に二階建校舎を新築、移転する
	16年 4月 1日	「是川国民学校」となる
	22年 4月 1日	「是川小学校」と改称し、是川中学校を併置する
	29年12月 1日	八戸市に合併のため「八戸市立是川小学校」となり、校歌を制定する
	49年11月16日	火災により校舎全焼する。以後7カ所での分散授業をする
	50年 1月22日	団地内にプレハブ校舎完成
	50年 8月 1日	学校プール完成
	50年10月 7日	本校舎完成
	51年11月 7日	創立百周年及び校舎新築落成記念式典を挙げる
	53年 7月 1日	東校舎増築落成式を行う
	56年 3月31日	本校舎増築完了
	56年10月23日	ソニー理科教育振興財団「優秀賞」受賞
	56年12月15日	体育館増改築完成
平成	12年11月 9日	青森県学校歯科保健優良校表彰「小規模校の部準第一位」受賞
	18年12月25日	青森県学校給食表彰「県教育委員会教育長賞」受賞 全日本小学校ホームページ大賞「県優秀校」受賞
	22年 6月 7日	長年の資源回収活動の功績により「環境大臣表彰」受賞
	24年11月10日	青森県PTA連合会「優良団体表彰」受賞
	27年 3月10日	西校舎・新校舎・体育館トイレ改修完了
	27年 4月 1日	八戸市立是川東小学校と統合
	28年 2月 7日	ソニー理科教育振興財団「奨励賞」受賞
	29年 1月23日	八戸市学校保健会「市健康教育推進学校優秀校」受賞
	29年 2月 3日	八戸市連合PTA「優良PTA表彰」受賞
令和	4年 1月31日	学校教育実践功労表彰 活動部門
	6年 8月 9日	学校給食 県教育長表彰
	8年 1月20日	文部科学大臣優秀教職員表彰

令和8年度



学校要覧



令和8年4月 桜が咲く春の日の校庭

児童数

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計
	1組	さくら	1組	さくら	1組	さくら	1組	さくら	1組	さくら	1組	さくら	
男	8	1	6	1	1	8	8	1	1	1	1	1	56
女	7	0	6	3	1	8	1	2	0	1	0	0	47
計	15	1	12	14	2	16	20	1	21	1	1	1	103

校時表

	月	火	水	木	金
登校	8:00				
朝学習	朝自習 8:05~8:15	全校朝会 8:05~8:15		朝自習 8:05~8:15	読書かせ・読書 8:05~8:15
朝の会	8:15~8:25				
1校時	8:25~9:10				
2校時	9:15~10:00				
中休み	10:00~10:10				
3校時	10:15~11:00				
4校時	11:05~11:50				
給食	11:50~12:40				
昼休み	12:40~13:10	12:40~12:55		12:40~13:10	
清掃	13:10~13:30	5校時 13:00~13:45		13:10~13:30	
5校時	13:30~14:15	6校時 13:50~14:35		13:30~14:15	
6校時	14:20~15:05	14:35~14:50		14:15~14:30	14:20~15:05
帰りの会	15:05~15:20	下校 14:55		クラブ 委員会 14:35~15:20	15:05~15:20
下校	15:25			15:25	

職員一覧

校長	織田 昇	教頭	松田 典孝	教務	馬場 正男
1年1組	鹿原 亜美	養護助教諭		角 美津代	
2年1組	佐藤 洋子	養護教諭		沢目 恵里奈	
3年1組	西館 芳乃	特別支援 アシスタント		神田 弘美	
4年1組	井沼 志穂	主事		池田 悠乃	
5年1組	長根 郁乃	技能主事		庭野 武一	
6年1組	大沢 泰尚	スクールサポート スタッフ		風張 良子	
さくら	坂本 全優	給食配膳員		吉田 夏子	

校訓 正しい心・美しい心・たくましい心

所在地 〒031-0023 八戸市是川四丁目1
TEL 0178-96-3746・96-3747
FAX 0178-71-8020
e-mail: korekw_e@hec.hachinohe.ed.jp

八戸市立是川小学校

知

重点施策と具体的取組

□地域の教育資源を活用した縄文学習の体系化と充実

- ・「縄文学習」の体系化

□主体的に問題解決に向かう「対話的な学び」の推進

- ・教師のファシリテーション力の向上
- ・協働的な学びの場を設定し、主体的に問題解決に向かう子を育てる

徳

重点施策と具体的取組

□望ましい人間関係を築く力や修復力を高める指導

- ・人間関係についての実態把握と早期対応
- ・あいさつの重視
- ・「なかよしSST」の実施

□いじめの早朝発見・対応と安全な居場所づくり

- ・教育相談週間の充実
- ・「いじめ0」運動継続

体

重点施策と具体的取組

□心とからだの健康

- ・「むし歯ゼロ」を目指す、歯と口の健康づくり
- ・基本的な生活習慣について自己管理能力を身に付けさせるための指導
- ・親子すこやか集会
- ・パワーアップルーム開催

□体力向上の推進

- ・体力テストによる実態把握と日常的な体力の向上

校内研修

主体的に問題解決に向かう子の育成

～話し合っ解決するためのファシリテーションの工夫～

教育目標

学ぶことの喜びと 確かな力をもつ
是川の子

努力目標

知

進んで考える子

徳

相手を思いやる子

体

健康な子

めざす学校像

子供も教職員も健全で
活気に満ちた明るい学校

- ◇子ども一人一人が人間として尊重され、安心して過ごせる学校
- ◇校舎内外の施設・設備の安全が保証され、安心して過ごせる学校
- ◇保護者が安心して子どもを託せる学校
- ◇子ども・職員・保護者が相互に力を合わせ、信頼関係で結ばれている学校

めざす児童像

人との関わりの中で
より良く育とうとする子ども

- ◇チャレンジ精神を持ち、困難に立ち向かっていく子ども
- ◇相手の立場や気持ちを理解し、行動できる子ども
- ◇自らの考えを持ち、はっきり表現できる子ども

経営方針

- ①公立の義務教育機関として、各法令・青森県教育委員会及び八戸市教育委員会の方針と重点を基盤とし、「子供のいのち最優先」を常に念頭に置いて教育活動にあたる。
- ②全ての判断基準を「子供」におき、確かな学力の保証に努め、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供を育成する。
- ③望ましい人間関係を築く力を育成するとともに、「縄文」教育の充実を図り、家庭及び地域社会から信頼される学校を目指す。

学校目標

認め合い

話し合っ高め合っ

縄文の郷の子

地域密着型教育

(コミュニティ・スクール)

是川小・中学校地域学校連携協議会

構成 協議委員 20名 コーディネーター2名

実施日および主な内容

- 第1回(4月) 経営方針説明と承認
- 第2回(10月) 進捗状況説明
- 第3回(2月) 学校評価に関する説明および審議

行事等参観(運動会、学習発表会、参観日、卒業証書授与式)

教育支援ボランティア

主な取組 校外学習支援、学校行事支援、老人クラブとの交流(干し柿づくり、昔の遊び)環境整備支援